

【目標】 「多文化共生社会づくりの推進」

基本方針【1】:未来に向けたまちづくり

目標指標	指 標	現行値 (2018年度)	目標値 (2024年度)	2020	2021	2022	2023	2024
	多文化子育て交流機会の回数	—	12回	—	—	16回	—	—
	日本語指導助手の言語数と人数	2言語・10人	3言語・15人	3言語11人	3言語11人	3言語11人	—	—
	「こぎつね教室」の入室者数	60人	90人	47人	43人	53人	—	—

実施施策(1) 子育てのサポート

○妊婦や就学前の子どもとその保護者の支援【乳幼児期】

No.	主な事業	事業の内容	区分	計画対象年度					R4年度実績	R5年度計画	関係課等
				2020	2021	2022	2023	2024			
1	外国語版の子育て情報ハンドブックの作成	市の子育てサポートの一覧表を外国人市民にも理解していただけるよう多言語で作成します。妊娠期からの子育て情報を網羅した情報誌等を多言語で作成します。	新規	検討	実施	→	→	→	妊娠から出産後の子育てに役立つ情報の一覧を配布し、情報提供をした。	引き続き子育てに役立つ情報を精査しながら、多言語化して配布できるようにする。	子育て支援課
2	健診・予防接種等の多言語対応	窓口での相談業務や健診、予防接種等への多言語対応を拡充します。また、問診票・案内チラシ等の多言語化を行います。	拡充	実施	→	→	→	→	音声翻訳機ポケットークを設置。乳幼児健診会場全144回/年にポルトガル語通訳を配置。問診票、案内通知文を多言語化した。(ベトナム語を追加) 歯科啓発リーフレットを多言語化した。	継続して実施する。	保健センター
3	育児・発達相談の実施	育児・発達相談等への多言語対応を拡充します。また、問診票・案内チラシ等の多言語化を行います。	拡充	実施	→	→	→	→	必要時にポルトガル語通訳を配置。転入相談票を多言語化した。	継続して実施する。	保健センター
4 重点	多文化子育て交流機会の提供	日本の子育てに関する制度や母子保健等、外国人市民が日本で子育てをしていくに当たって必要な情報を提供したり、日本人の親子と交流を行ったりする機会を設けます。	新規	検討	実施	→	→	→	「ママも1歳おめでとう誕生会」「親子遊び教室」では、市民協働国際課の協力を得て市民への周知を図った。また、イベントコラボを実現し、多文化に対する関心を深めた。	引き続き外国人親子が感心を持つよう案内チラシを多言語化し、配布する。外国人も参加しやすい活動内容を検討する。	子育て支援課
									R4年度から新規で、子育て支援課と連携し、子育て支援センターの「親子遊び教室」で異文化交流イベントを実施した。 1月:英語で絵本の読み聞かせ ベトナムの体操など 2月:世界のバレンタイン(工作) ベトナムの体操など	引き続き「親子遊び教室」のほか、外国人親子が参加できるような異文化交流イベントの実施を図り、日本人親子と交流ができる機会を提供する。また、多言語で情報を提供する。	市民協働国際課
5	保育園関連資料等の多言語版の作成	保育園入園説明会資料や、園だより等を多言語で作成します。また、入園説明会等でポルトガル語等の通訳が必要な場合は、市民協働国際課の通訳を派遣します。	継続	→	→	→	→	→	保護者のニーズに応じて、ポルトガル語やスペイン語に対応した乳児用連絡ノートを使用し、活用した。	引き続き、必要な資料などの多言語作成に取り組んでいきます。	保育課
6	プレスクール(就学前児童の日本語指導等)事業の実施	「こぎつね教室」において、小学校入学半年前の幼児に日本語の指導等をする「プレスクール」を行います。	継続	→	→	→	→	→	就学前の児童を対象に10月~3月に前期・後期(各10回)に分け親子プレスクールを開催。親子で学ぶことで、より充実した指導を行うことができた。また、R4年度から新規で、プレスクールに参加した親子向けに、小学校の入学に関する説明会を行い就学の支援を図った。その他、プレスクールに参加できない児童らの日本語学習支援やプレスクールの取り組みの紹介などのため、親子プレスクールをもととした学習動画を次年度に向け制作する。	学校と連携して就学前健診時などでプレスクールの案内をする他、制作したプレスクールの動画をHPに掲載し、周知することで、より多くの児童を受入れ、日本語の指導を行うとともに、就学を支援する。また、小学校に関する情報などを積極的に提供する。	市民協働国際課 学校教育課
7	円滑な小学校入学・通学のための支援(学校生活のルール・教育制度の周知等)	外国人児童の多く在籍する小学校での入学説明会(学校生活のルール・教育制度の周知等)に日本語指導助手を派遣します。	拡充	実施	→	→	→	→	要請のあった小学校の入学説明会に日本語指導助手を派遣し、円滑な就学支援を行った。	令和4年度と同様に、要請のあった小学校の入学説明会に日本語指導助手を派遣する。	学校教育課

8	放課後児童クラブの多言語対応の充実	外国人児童の多く在籍する放課後児童クラブに、多言語対応可能な支援員等を新たに配置します。 また、外国人児童の多く在籍する児童クラブの入所関係書類を多言語で作成し、説明会も多言語で実施します。	新規	実施	→	→	→	→	児童クラブの入所関係書類を多言語化するとともに、緊急のお知らせ等も多言語でメール配信等実施した。	引き続き児童クラブに関する各種お知らせ等の多言語化に取り組む。	子育て支援課 市民協働国際課
---	-------------------	--	----	----	---	---	---	---	--	---------------------------------	-------------------

実施施策(2) 教育環境の整備

○児童生徒への学習支援や不登校・不就学児童生徒等の就学支援【子ども期】

No.	主な事業	事業の内容	区分	計画対象年度					R4年度実績	R5年度計画	関係課等
				2020	2021	2022	2023	2024			
9	外国人児童生徒の状況の把握	外国人児童生徒数や進路状況等を毎年度調査し、把握します。	継続	→	→	→	→	→	外国人児童生徒数について、年2回調査を実施し、実態把握に努めた。令和3年度卒業生の進路状況についても調査を行った。	令和4年度同様に、2つの調査を実施し、実態把握をしていく。	学校教育課
10 重点	小中学校の日本語指導助手の充実	ポルトガル語以外の日本語指導助手を増員し、日本語ができずに小中学校の学習や生活に適應できない児童生徒のサポートや指導等を行います。	拡充	実施	→	→	→	→	ポルトガル語・スペイン語・タガログ語の日本語指導助手を配置した。	ポルトガル語・スペイン語・タガログ語に加え、ベトナム語の日本語指導助手を雇用し、4言語に対応する。	学校教育課
11	小中学校の外国人児童生徒教育担当者の指導力の向上	市内全小中学校に配置されている外国人児童生徒教育担当者に対する研修会を実施し、指導力の向上を図ります。	継続	→	→	→	→	→	外国人児童生徒教育担当者に対して、外国人児童生徒教育講座の伝達講習を行い、指導力を向上させた。	外国人児童生徒教育担当者に外国人児童生徒教育講座の内容を伝達講習する。併せて日本語教育適應学級担当者に効果的な日本語指導について研修会を実施する。	学校教育課
12	日本語教育コーディネーターの配置	日本語教育コーディネーターを外国人児童生徒の多く在籍する小中学校に派遣し、外国人児童生徒教育担当者や日本語指導助手の指導等サポートを行います。	新規	検討	実施	→	→	→	日本語教育コーディネーターの配置を予算要望したが、実現には至らなかった。	日本語教育コーディネーターの予算を要求し、配置する。	学校教育課
13 重点	不登校・不就学の外国人児童生徒の就学支援(こぎつね教室)の充実	「こぎつね教室」の日本語指導員を増員し、送迎や指導体制の見直しを行い、増加する日本語が未熟で小中学校に不登校や不就学となっている外国人児童生徒の公立小中学校へのスムーズな転入を図ります。	拡充	実施	→	→	→	→	来日し入室を希望する児童生徒が増えたため、希望者全員が入室できるように、送迎や指導体制を工夫し、就学支援を図った。また、昨年度から引き続きオンライン授業を実施し、継続して指導することで、日本語の習得を促進した。	入室を希望する児童生徒が増加傾向にあるが、受入体制や指導内容を充実させ、児童生徒の日本語の習得を促進し、就学を支援する。	市民協働国際課 学校教育課
14	外国人児童生徒夏休み学習会(仮称)の実施	外国人児童生徒の希望者に対し、夏休み期間を利用し、日本語指導助手等のサポートのもと学習会を実施します。	新規	実施	→	→	→	→	外国人児童生徒が多い学校を会場とし、希望者に当該校教諭及び日本語指導助手のサポートのもと、学習会を実施した。	令和4年度の反省を生かしながら、外国人児童生徒が多い学校を会場校とし、希望者に学習会を実施する。	学校教育課
15	外国人児童生徒の学習支援(PECLA)	国際交流協会の実施する「PECLA(ベクラ)」において、南米の子ども等に母語や日本語指導、学習の支援を行います。	継続	→	→	→	→	→	R5.1.14愛知県国際交流協会と外国人児童生徒向け日本語ボランティア育成等事業の「スキルアップ研修」を実施した。受講者19名、スタッフ6名	コロナ禍で減少している外国人生徒を積極的に募集し増やす。	国際交流協会

○生徒への進路に関する支援【青年期】

No.	主な事業	事業の内容	区分	計画対象年度					R4年度実績	R5年度計画	関係課等
				2020	2021	2022	2023	2024			
16	外国人生徒やその保護者を対象にした進路説明会の開催や進路に関する情報の提供	外国人生徒の多く在籍する中学校での進路説明会に日本語指導助手を派遣します。また、進路に関する情報や奨学金についての情報を多言語で提供します。	拡充	実施	→	→	→	→	要請のあった学校の進路説明会及び進学懇談会に日本語指導助手を派遣した。また、外国人児童生徒を対象とした進路説明会を県立高校と連携し開催、具体的な進路の説明を行う機会を設けた。	令和4年度同様、要請のあった学校の進路説明会及び進学懇談会に日本語指導助手を派遣する。また、令和5年度は、学校教育課主催の進路説明会を8月に開催する。	学校教育課

第3次豊川市多文化共生推進プラン(2020-2024)事業実績報告書

基本方針【2】:住みやすいまちづくり

目標指標	指標	現行値 (2018年度)	目標値 (2024年度)	2020	2021	2022	2023	2024
	日本語教室等の延受講者数	367人	2,000人(5年計)	83人	143人	164人	—	—
	資源・ごみ分別アプリ(外国語)のダウンロード数	58件	500件	88件	119件	162件	—	—
	多言語情報提供配信システム(とよかわ安心メール)の登録件数	433件	1,000件	867件	963件	997件	—	—
	外国人相談対応に対する満足度	—	88.0%	97.0%	98.4%	99.8%	—	—

実施施策(1) 円滑なコミュニケーション環境の実現

○日本語習得のための支援【青年期・成人期】

No.	主な事業	事業の内容	区分	計画対象年度					R4年度実績	R5年度計画	関係課等
				2020	2021	2022	2023	2024			
17 重点	外国人市民に対する日本語学習機会の提供	国際交流協会が実施する「日本語教室」等、外国人市民に対する日本語学習機会の提供を行います。	継続	→	→	→	→	→	外国人児童生徒の就学支援として「こぎつね教室」で日本語学習の機会を提供した。	継続して実施する。	市民協働国際課
									大人向け日本語教室(ひるま・夜)を実施。延べ164人受講。また、夜クラスの一部でオンライン授業を実施した。会話クラスを2クラス(初級会話1、2)増設した。	継続して実施する。生活の日本語会話クラスの強化とともに、文法等トータル学習クラスも学習者の要望により存続、初中級クラス開講	国際交流協会
18	日本語ボランティア養成講座等の実施	日本語ボランティア養成講座やスキルアップ研修、若者ボランティア体験講座等を実施し、新規のボランティアの育成やボランティアのレベルアップを図ります。	継続	→	→	→	→	→	10/2:日本語ボランティア養成講座「地域の日本語教室で私にできることって?」(千葉月香氏) 9/11:スキルアップ研修『やさしい日本語を通して考える「伝える」「伝える」ヒント』(犬飼康弘氏)を実施した他、12/11にワールドフェスティバルのボランティアに高校生15名が参加。新規ボランティアの育成を図った。	継続して新規ボランティアの育成やレベルアップを図る。 10/15:日本語ボランティア養成講座「やさしい日本語の活用」(御館久里恵氏) 9/23:スキルアップ研修『「ことば」の活動について考えるースロベニア語を通して学習者の気持ちにー』(犬飼康弘氏) 12/10:ワールドフェスティバルでの高校生ボランティア養成	市民協働国際課 国際交流協会
19	日本語能力検定試験の周知や受験費補助等の支援	外国人児童生徒や日本語教室受講者等の外国人市民の日本語能力の向上を図るため、日本語能力検定試験や受験費補助についての周知を行います。	継続	→	→	→	→	→	外国語版広報等にて試験や受験費補助についての周知を実施。6名に受験費補助を行った。	試験や受験費補助についての周知を行い、受験費の補助を行う。	市民協働国際課
									日本語教室の生徒へ受験費補助について周知した。	継続して実施する。	国際交流協会
20	日本語習得や日本語指導員養成のための研修等の情報提供	国や県等が実施する日本語習得や、日本語ボランティア養成のための研修等の情報提供を行います。	継続	→	→	→	→	→	国や県等が実施する講座や研修等の情報のチラシやポスターを窓口等に設置した他、ホームページやFacebookで情報提供をした。	継続して実施する。	市民協働国際課
									国や県等が実施する講座や研修等の情報を日本語教室ボランティアへ提供し、チラシを窓口を設置した。	継続して実施する。	国際交流協会

○日本の生活ルール等の理解促進【全世代】

No.	主な事業	事業の内容	区分	計画対象年度					R4年度実績	R5年度計画	関係課等
				2020	2021	2022	2023	2024			
21	多言語による「オリエンテーションセット」の配布	転入外国人市民等へ、庁舎案内や行政手続き、生活ルール等をお知らせする「オリエンテーションセット」を多言語で作成し、配布します。	継続	→	→	→	→	→	ポルトガル語・スペイン語・英語・中国語・ベトナム語・インドネシア語のオリエンテーションセットを作成し、市民課窓口で外国人転入者に配布した。	内容の更新等を図りながら、継続して実施する。	市民協働国際課 市民課

22	多言語行政情報動画の配信	転入外国人市民等が市で生活するうえで必要なルール等を解説する多言語行政情報動画を制作し、ホームページ等で広く周知します。	新規	検討	実施	→	→	→	→	→	→	昨年度から継続して、外国人相談窓口で動画をモニターで流して紹介するとともに、二次元バーコードから簡単に動画にアクセスできる「動画紹介カード」を窓口等やイベントで配布した。また、令和5年2月1日～3月31日に、CCネットの【多言語特別番組】で豊川市の多言語行政情報動画7本全てを、毎週言語を替えて放送し広く周知した。	継続して周知を図り、活用していく。	市民協働国際課 関係各課
23 重点	外国人市民に対するごみ分別意識の啓発	外国人市民向けのごみ分別カレンダー及びごみ分別アプリの言語数を増やします。また、外国人市民に対し、ごみ分別講習会等を実施し、ごみ分別意識の啓発を図ります。	拡充	実施	→	→	→	→	→	→	→	外国人市民向けごみ分別カレンダー(6言語)及びごみ分別アプリ(4言語)により啓発を図った。	継続して実施し、外国人市民に対して、ごみ分別アプリの周知に努める。	清掃事業課
												ごみカレンダー(多言語版)の配布や資源・ごみ分別アプリ「さんあーる」への接続用バーコードを機関誌Weに掲載して外国人会員へ周知を図った。	継続して実施する。	国際交流協会
24	市営住宅入居者への日本の共同生活ルールの説明	市営住宅に入居する外国人市民に対し、共同生活において守っていただくルールを多言語で案内します。	継続	→	→	→	→	→	→	→	→	市営住宅新規入居者に対し、入居のしおり(日本語・ポルトガル語対応)を配布。入居後、生活におけるマナーやルールについて他の入居者から苦情があった際は、翻訳文書にて対応した。	現在実施している取り組みを継続する。	建築課
25	外国人市民への交通安全・防犯講習会等の実施	外国人市民に対し、交通安全・防犯講習会や啓発を実施します。	継続	→	→	→	→	→	→	→	→	外国人市民に対し、交通安全の講話を実施した。(9/21JICE就労支援研修:文化会館)	外国人市民に対し、交通安全・防犯講話や啓発を実施する。	人権生活安全課
												ワールドフェスティバルの警察ブースにおいて、外国人市民に対して、口頭やパンフレットの配布により啓発した。	警察との連携を継続して実施する。	国際交流協会
26	外国人市民への日本の生活ルール等に関する講演会等の実施	外国人市民に対し、日本の生活ルールや文化等に関する理解を促進するための講演会やイベント等を市や警察、消防等と連携して実施します。	継続	→	→	→	→	→	→	→	→	清掃事業課 資源・ごみ分別アプリ「さんあーる」の紹介を機関誌「We」に掲載し、外国人会員に啓発した。	農林水産省防疫所(中部空港)の植物・動物検疫パンフレット(漫画)を日本語教室の授業で取り上げ、啓発の一助とする。	国際交流協会 他

○多言語による情報提供【全世代】

No.	主な事業	事業の内容	区分	計画対象年度					R4年度実績	R5年度計画	関係課等
				2020	2021	2022	2023	2024			
27	外国語版広報の充実	外国語版「広報とよかわ」の言語数を増やします。	拡充	実施	→	→	→	→	ポルトガル語・スペイン語、英語・中国語の併合版と、ベトナム語版、インドネシア語版の6言語の外国語版広報を発行した。	引き続き6言語による外国語版広報を発行する。	市民協働国際課 国際交流協会
28	外国人向けのホームページの充実	外国人向けの市ホームページの言語数を増やします。また、国際交流協会のホームページの充実を図ります。	拡充	実施	→	→	→	→	ポルトガル語・スペイン語・英語・中国語・ベトナム語のホームページを運営し、タイムリーな情報提供を心掛け、内容の充実を図った。	内容の充実を図りながら、外国人市民の必要とする情報を提供する。	市民協働国際課
									多言語ホームページ作成の予算計上した。	多言語ホームページを作成	国際交流協会
29 重点	多言語情報提供配信システムを活用した情報配信の充実	多言語情報提供配信システム(とよかわ安心メール)を活用した行政情報等の配信の言語数を増やすとともに、登録者の増加を図ります。	拡充	実施	→	→	→	→	外国人相談窓口やこぎつね教室の保護者などに安心メールの説明を行い登録を促進するとともに、ホームページやFacebook・広報などで周知を図った。	引き続き外国人相談窓口やホームページ・Facebook・広報などで情報を周知し、登録者の増加を図る。	市民協働国際課
30	SNSを活用した多言語による情報配信の充実	外国語版の市公式Facebookの言語数を増やすとともに、登録者の増加を図ります。	拡充	実施	→	→	→	→	多言語行政情報動画の紹介カードの裏面に、各言語のFacebookの二次元バーコードを印刷し、登録者の増加を図るとともに、タイムリーな情報をほぼ毎日配信した。	引き続き、タイムリーな情報提供に努めるとともに、登録者の増加を図る。	市民協働国際課
									各課へ通知し、各課の提供する情報の多言語化を促進した。各課等の依頼や、コロナ関連、国・県からの行政情報などを多言語に翻訳し提供した。	各課の情報の多言語化を促進し、多言語での情報提供に努める。	市民協働国際課

31	各課窓口等での多言語等による行政情報等の提供	市役所各課窓口等の書類や啓発チラシ、案内文等の行政情報を多言語で作成します。また、多言語対応できない場合でも「やさしい日本語」を用いて行政情報等の提供に努めます。	拡充	→	→	→	→	→	ポルトガル語・スペイン語版の書類の新規作成や、既存書類の文言の修正を行った。コロナウイルスに関する院内掲示物に対し、ポルトガル語・スペイン語版の表記も加えた。	引き続き多言語による情報提供に努める。	関係各課
									機関紙「We」No.120で「やさしい日本語をつかってみよう！」のテーマで、やさしい日本語を書くときのポイントを集めた。ポケットークを購入した。	継続して実施する。ポケットークの活用を図る。機関誌にローマ字ルビ	国際交流協会
32	外国人市民に対する観光資源のPR	外国人市民を多く雇用する企業等と連携し、市の観光資源を紹介する等のPRを行い、永住化や、訪日外国人旅行者の増加を図ります。	新規	検討	実施	→	→	→	英語・中国語(簡体・繁体)、韓国語、タイ語、イタリア語、スペイン語、フランス語、ベトナム語対応の観光情報ホームページサービスを観光誘致カードを通じて提供。	外国人向け観光情報PRを継続して実施。	商工観光課 観光協会 商工会議所 他

実施施策(2) 生活環境の整備

○通訳・相談体制の整備【全世代】

No.	主な事業	事業の内容	区分	計画対象年度					R4年度実績	R5年度計画	関係課等
				2020	2021	2022	2023	2024			
33 重点	「外国人相談窓口」の充実	外国人市民が生活に関する情報や相談場所に適切・迅速に到達できるよう、多言語で情報提供や相談を行うワンストップ型の「外国人相談窓口」を市民協働国際課に設置し、外国人市民の状況等に応じて充実を図ります。	拡充	実施	→	→	→	→	ポルトガル語・スペイン語・英語・中国語・ベトナム語の通訳を配置するとともに、15言語対応可能な電話通訳サービスを活用し、多言語での情報提供や相談を行った。また、窓口の充実を図るため、相談窓口でアンケートを昨年度に引き続き実施した。	多言語での情報提供や相談を行うとともに、引き続きアンケートも実施し、窓口の充実を図る。	市民協働国際課
34	通訳職員等の配置	収納課、市民病院、保健センター、国際交流協会に通訳職員等を配置し、外国人市民の相談等に対する体制を整えます。	継続	→	→	→	→	→	ポルトガル語の通訳1名を配置。	継続して配置する。	収納課
									ポルトガル語・スペイン語の通訳職員を配置し、診察等で通訳を実施した。通訳体制向上のため、医療通訳に特化した電話通訳及びタブレット端末通訳が可能なサービスの利用を新たに開始した。	ポルトガル語・スペイン語の通訳職員を引き続き配置する。医療通訳に特化した、電話通訳及びタブレット端末通訳のサービスの利用を継続する。	市民病院
									赤ちゃん訪問24回/年、乳幼児健診会場全144回/年にポルトガル語通訳を配置し、相談体制を整えた。	継続して実施する。	保健センター
									中国語・スペイン語・英語・ポルトガル語の通訳を配置し、関係機関と連携して、外国人市民の相談等に対応した。	継続して実施する。	国際交流協会
35	通訳職員の派遣	市民協働国際課の通訳職員を必要に応じて市役所各課等の関係する機関等へ派遣します。	継続	→	→	→	→	→	市役所各課等からの要請により、関係機関等へ通訳を派遣した。	必要に応じて派遣する。	市民協働国際課

○税、医療、保険、介護、福祉支援【成人期・老年期】

No.	主な事業	事業の内容	区分	計画対象年度					R4年度実績	R5年度計画	関係課等
				2020	2021	2022	2023	2024			
36	外国人税務相談会の実施	税務手続きが円滑に行えるよう外国人市民のための多言語による税務相談会を開催します。	継続	→	→	→	→	→	令和5年2月19日(日)に豊川市勤労福祉会館にて、外国人を対象に多言語対応の税務相談会を開催し、25名の外国人市民が参加した。	相談会を開催予定。(実施時期未定)	市民税課 国際交流協会 他
37	外国人市民に対する社会保障制度の周知	公的医療保険や介護保険、年金等の福祉に係る社会保障制度への理解を深めるため、多言語による周知を行います。	新規	実施	→	→	→	→	通知物をポルトガル語・英語・中国語・ベトナム語で作成し、多言語による周知を図った。	引き続き多言語での周知を図る。	保険年金課
									東三河広域連合で作成した多言語に対応した介護保険パンフレットをホームページに掲載するとともに、窓口で活用した。	継続して実施する。	介護高齢課
									福祉サービスの申請から利用までの流れについての説明資料を多言語化し周知を図った。	継続して実施する。	福祉課
									医療機関等が通訳システムを活用できるように、負担金を負担し、外国人市民が安心して医療を受けられる環境の整備に努めた。	引き続き負担金を負担するとともに、医療機関等への周知を図る。	市民協働国際課

38	あいち医療通訳システムの周知及び活用	愛知県の医療通訳システムを積極的に医療機関等に周知し、活用を促すことにより、外国人市民が安心して医療を受けられる環境を整えます。	継続	→	→	→	→	→	あいち医療通訳システムは、翻訳業務のみの契約へと変更した。別に医療通訳に特化した電話通訳、タブレット端末通訳のサービスの利用を開始し、状況に合わせ最適なサービスを使用した。	あいち医療通訳システムによる翻訳業務と、医療通訳専用サービスを併用し、状況に合わせ最適なサービスを利用できる体制を維持する。	市民病院
									あいち医療通訳システムの利用は有料であるため、現時点ではスマートフォンのアプリやポケットークなどの通訳機に対応した。	市内医療機関等に周知できる機会を検討していく。	保健センター他

○災害時の体制整備【全世代】

No.	主な事業	事業の内容	区分	計画対象年度					R4年度実績	R5年度計画	関係課等
				2020	2021	2022	2023	2024			
39	外国人市民に対する防災講習会等の実施	外国人市民に対する防災講習会等を実施し、防災意識を高めます。	継続	→	→	→	→	→	実施なし。	防災リーダー養成講座など各種講座に対する外国人参加の啓発を図る。	危機管理課
									6/5:多文化共生課外授業において、豊川市防災センターの見学を実施した。(参加者11名)	「防災ってお互いさま!」に被災として、また通訳として参加することで、防災意識を高めます。	国際交流協会他
40	災害時通訳ボランティアの登録・養成の促進	災害時に日本語がわからない外国人被災者への支援を行うため、災害時通訳ボランティアの募集・登録を促進し、国際交流協会が市や社会福祉協議会等と連携して養成講座等を実施します。	継続	→	→	→	→	→	関係各課が連携し、11月12日(土)に「防災ってお互いさま!」を開催。危機管理課職員や防災ボランティアが講師となり、災害時通訳ボランティア等のスキルアップ研修を実施した。また、ポルトガル語・英語・中国語・スペイン語の災害時通訳ボランティア4名の新規登録を行った。	関係各課が連携し、令和5年11月12日(日)に「防災ってお互いさま!」にて「外国人被災者を避難所に受入れる模擬訓練」を実施し、災害時通訳ボランティアのスキルアップを図る。	市民協働国際課 危機管理課 国際交流協会 社会福祉協議会他
41	避難所等の多言語対応	外国人の多く住む地域の避難所等に多言語表示シートを設置したり、必要に応じて災害時通訳ボランティアを派遣したりする等、日本語がわからない外国人市民に対する災害時の支援を行います。	新規	実施	→	→	→	→	9月4日(土)に愛知県多文化共生推進室と災害時多言語支援センター設置運営訓練を実施。また、災害時に避難所等で多言語で通訳対応できる「災害時多言語コールセンター」の業務委託を予算計上した。(市民協働国際課) 災害時には、災害時通訳ボランティアを市の要請により国際交流協会が派遣する。	災害時に避難所等で多言語で通訳対応できる「災害時多言語コールセンター」を業務委託する。 災害時には、災害時通訳ボランティアを市の要請により国際交流協会が派遣する。	市民協働国際課 国際交流協会
									各避難所に対し、「コミュニケーション支援ボード」を配備(平成29年度～)	市HP等を通してコミュニケーション支援ボードの啓発を継続する。	危機管理課他

○労働環境の整備【成人期】

No.	主な事業	事業の内容	区分	計画対象年度					R4年度実績	R5年度計画	関係課等
				2020	2021	2022	2023	2024			
42	関係機関との就労に向けた情報共有と連携強化	公共職業安定所、商工会議所等の関係機関と外国人市民の就労に関する情報を交換し、共有を図ります。	継続	→	→	→	→	→	定期的に豊川職業安定所の職員との打ち合わせを行い情報提供を図った。	引き続き定期的に豊川職業安定所の職員と位置合わせを行い、情報共有を図る。	商工観光課 公共職業安定所 商工会議所 農業協同組合他
									随時、農業協同組合へ情報提供を行い、就労に関するマッチングを行った。	引き続き、随時農業協同組合に情報提供を行う。	農務課
43	外国人市民に対する職業訓練等の情報提供及び就労に関する相談	国や県等が実施する外国人市民に対する職業訓練や就労につながる講座・研修等の情報を多言語により周知し、就労に関する相談等を行います。	拡充	実施	→	→	→	→	公的機関等から配布された外国人向けの就労関係のチラシ等を窓口を設置した。	令和4年度同様に、公的機関等からの外国人向けの就労に関する情報を、窓口へチラシ等を設置し周知する。	商工観光課 農務課 公共職業安定所 商工会議所 農業協同組合他
44	外国人市民に対する起業支援	外国人市民の起業に関する相談や情報提供を多言語により行い、支援します。	新規	実施	→	→	→	→	市民協働国際課の通訳職員と協力して、外国人市民の起業に関する相談を実施した。	令和4年度同様に、市民協働国際課の通訳職員と協力して窓口での相談支援の充実を図る。 外国語での特定創業支援事業の実施について検討を行う。	商工観光課 商工会議所他

第3次豊川市多文化共生推進プラン(2020-2024)事業実績報告書

基本方針【3】:活気にあふれるまちづくり

目標指標	指 標	現行値 (2018年度)	目標値 (2024年度)	2020	2021	2022	2023	2024
				国際理解・国際交流を目的とした講演会等の参加者数	180人	1,000人(5年計)	132人	74人
地域や企業等との連携による外国人市民が参加する防災訓練等の実施回数	—	5回	3回	4回	3回	—	—	
町内会に対する外国人市民受入の意識啓発研修会の実施回数	—	3回	10回	5回	8回	—	—	

実施施策(1) 多文化共生の意識づくり

○多文化共生・国際理解の意識啓発【全世代】

No.	主な事業	事業の内容	区分	計画対象年度					R4年度実績	R5年度計画	関係課等
				2020	2021	2022	2023	2024			
45	日本人市民と外国人市民との交流事業の実施	外国人市民と日本人市民との交流を図るため、キッズワールドサマースクールやワールドフェスティバル等の交流事業を行います。	継続	→	→	→	→	→	8/6に総合体育館にてキッズワールドサマースクールを開催し、小学4～6年生計27名が参加した。12/11に勤労福祉会館にてワールドフェスティバルを開催し約800人が参加した。 *キッズワールドサマースクールは来年度から中止する。	12月に豊川市制80周年記念事業として、ワールドフェスティバルを開催する。	市民協働国際課 国際交流協会
46 重点	国際感覚豊かな多文化共生意識を持った日本人市民の育成	小中学生等を含む幅広い層の市民に対し多文化共生に関する出前講座や国際理解講演会等を実施し、国際感覚豊かな多文化共生意識を持つ日本人市民の育成を図ります。	継続	→	→	→	→	→	中部中学校2年生の総合学習で、6月にブラジル講座を実施し、9月には生徒が考えた異文化交流イベントに外国人市民が参加し交流を深めた。また、7月に御油第1、第2児童クラブにて、異文化理解を深める講座を実施した。 2月には、小坂井西小3年生と千両小3年生の児童がJICA青年海外協力隊でペルーに派遣されている毛笠貴博さん(豊川市)とオンラインで交流し、ペルーの文化や生活についての他、青年海外協力隊の活動などを学ぶことで国際理解を深めた。また、愛知県の多文化共生月間(11月)に合わせ、中央図書館の児童コーナーにて、異文化理解のための絵本や児童書を展示するとともに、外国語絵本の紹介をするなどして、市民の多文化共生意識の啓発を行った。	JICAの協力を得て、小中学校で国際理解の講座を開催する他、小中学校向けの多文化共生に関する出前講座を実施する。また、中央図書館と連携して、姉妹都市や多文化関連図書の展示を開催し、市民の多文化共生・国際理解の意識啓発を図る。	市民協働国際課
									6/26「美味しいコーヒーを飲みながら国際理解を深めよう」(春日井隆司氏)、11/20「自転車の世界一周してみた!」(溝口哲也氏)、9/4「カンボジア」(チャイ・ナット氏)、R5.2/25「ハンガリー」(コバーチ・エミレ氏)参加者283名を開催した。 その他、6月に中央図書館とのコラボ展示「ラテンアメリカを知らう!」を開催した。	11/19に国際理解講演会「海外における日本のアニメ」、どんな国シリーズ「イギリス」を開催予定のほか、10月に中央図書館と連携し、「フランス」を紹介するコラボ展示を実施予定。	国際交流協会
47	人権尊重意識の啓発	人権・男女共同参画講演会の開催や各種イベント等での啓発活動、小中学校での道徳等の授業や学校教育を通じた人権教育等により、市民の人権尊重意識の啓発を図ります。	継続	→	→	→	→	→	R5.3.4に宇梶剛士さんを講師に迎え、人権・男女共同参画講演会を開催した。その他、人権週間やごさかい葵まつりの啓発の活用により、市民の人権尊重意識の啓発を図った。	人権・男女共同参画講演会の開催や各種イベント等での啓発活動により、市民の人権尊重意識の啓発を図る。	人権生活安全課 学校教育課

48	やさしい日本語の活用啓発	「やさしい日本語」の実践的な活用を促すため、市職員に対する研修や小中学校への出前講座に加え、市民に対する出前講座を実施します。また、やさしい日本語に関する情報の周知や活用の啓発を図り、市民の多文化共生意識の啓発を図ります。	拡充 実施	→	→	→	→	職員向けに「やさしい日本語職員研修」を自治体国際化協会から講師を招き、対面で実施した(R4.8.31)。また、「やさしい日本語」町内会出前講座を4町内会で開催。桜町連区では回覧板でやさしい日本語についての情報を住民に周知し、活用の啓発を図った他、金沢町内会では外国人市民に参加してもらい、やさしい日本語の活用方法などを日本人市民に向けて紹介した。その他、御油第1・第2放課後児童クラブで開催した異文化理解を深める講座にて、児童に向けてやさしい日本語を使い外国人とコミュニケーションを取る大切さを紹介した他、豊川特別支援学校の教員向けにやさしい日本語講座を開催し、学校での活用方法などを紹介して、多文化共生意識の啓発を図った。	R4年度と同様に、講師を招いて職員研修を実施する。また、小中学校の児童生徒、教員向けの他、町内会など市民に対する出前講座も実施し、やさしい日本語に関する周知や活用の啓発を図る。	市民協働国際課
								協会のホームページやフェイスブック、機関誌「We」等をやさしい日本語で発信した。	継続して実施する。10/15日本語ボランティア養成講座で「やさしい日本語」を取り上げる。	国際交流協会
49	姉妹都市・友好都市等諸外国との交流事業の実施	姉妹都市キューパティーノ市と友好都市無錫市新呉区との中学生使節団の相互派遣や市民使節団の相互派遣等諸外国の方とのホームステイや学校体験等を通じた交流を行い、市民の多文化共生・国際理解の意識啓発を図ります。	継続	→	→	→	→	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、姉妹都市・友好都市との派遣事業は中止となったが、オンラインミーティングを開催し、提携45周年記念事業等について話し合いをするなど、交流の継続を図った。また、2/9～2/12に桜ヶ丘ミュージアムにて両市の児童生徒の絵画や書道による子ども作品展を開催するとともに、豊川市の児童生徒の作品も両市へ送り交流をした。その他、1/5～2/14に中央図書館にて、図書館コラボ展示「友情は海を越えて～姉妹都市・友好都市との交流～」を開催し、両市との交流について掲示物や関連書の展示にて紹介するとともに、過去の子どもの作品展の作品を展示した。また、JICA青年海外協力隊でペルーに派遣されている毛笠貴博さん(豊川市)のご協力により、小学校2校で、ペルーとオンラインでの交流を図り、市民の多文化共生・国際理解の意識啓発を図った。	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和5年度も中学生使節団の派遣等は中止。また、R5年度は姉妹都市提携45周年を迎えるが、同じく市民使節団の相互派遣も中止となったが、オンラインによる交流を実施し、交流の継続を図る。その他、引き続き両市との子ども作品展を開催するほか、R5年度もJICAの協力を得て、ペルーとのオンライン交流や講演会を実施し、市民の多文化共生・国際理解の意識啓発を図る。	市民協働国際課 学校教育課
								8/9市民協働国際課と一緒にオンライン交流をした。キューパティーノ市によるベルリンギングの返答として、三河国分尼寺跡公園にて撮影した動画を送付し、交流を図った。	市民協働国際課と一緒にオンライン交流を予定している。キューパティーノ市によるベルリンギングの返答は、継続して実施する。	国際交流協会

○外国人市民の意見反映【成人期】

No.	主な事業	事業の内容	区分	計画対象年度					R4年度実績	R5年度計画	関係課等
				2020	2021	2022	2023	2024			
50	外国人市民の意見を聴く機会の創出	外国人市民意識調査等の実施や、市役所の会議等における外国人市民の委員への登用に努め、国際交流協会のイベント等で外国人市民との意見交換ができる場を設ける等、外国人市民の抱える問題や課題等を把握する機会を創出します。	継続	→	→	→	→	豊橋技術科学大学の外国人留学生を2か月間受け入れ、外国人市民の抱える問題や課題などについて、外国人の視点から問題点を定義してもらい、課題の解決に努めた。	次期多文化共生プランの改訂に向け、外国人市民意識調査を実施する。	市民協働国際課	
								12/11(日)に開催したワールドフェスティバルにおいて「ざっくばらんに話そう！」を実施。外国人・警察官・地元企業の社員・大学生・高校生・協会会員が集い、本音で語り合い、国際的視野を広げた。	継続して実施する。	国際交流協会	

実施施策(2) 地域社会への参加促進

○地域での交流、地域活動への参加促進【成人期】

No.	主な事業	事業の内容	区分	計画対象年度					R4年度実績	R5年度計画	関係課等
				2020	2021	2022	2023	2024			
51	外国人市民の地域社会活動への参加促進	町内会等の地域や企業等の事業者の協力を得て、多言語で外国人市民に町内会の役割や活動を紹介する機会を設け、町内会への加入や地域社会への参加促進を図ります。	継続	→	→	→	→	→	市営住宅新規入居者に対し、住宅の鍵を渡す際に、町内会についての説明を受けるよう、市民協働国際課へ案内している。	現在実施している取り組みを継続する。	市民協働国際課 建築課 国際交流協会 商工会議所 農業協同組合 連区長会他
52 重点	地域や企業等と連携した外国人市民参加の防災講習会・防災訓練の実施促進	町内会等の地域や企業等の事業者と連携し、外国人市民が参加する防災講習会・防災訓練を実施し、防災に対する意識や避難方法を周知するとともに、町内会への加入を働きかけ、地域社会への参加促進を図ります。	新規	検討	実施	→	→	→	10月に桜町連区で開催された防災訓練に外国人市民6名参加。(国際係で通知文を多言語に翻訳し、連区で配布した。) 11月に金沢町で町内会と地元企業と連携し、防災訓練を実施し、外国人市民9名参加。	町内会等の地域や企業等の事業者と連携し、外国人市民が参加する防災講習会や防災訓練の実施を促進する。	市民協働国際課 国際交流協会 商工会議所 農業協同組合 連区長会他
									八南小おやじの会主催「学校に泊まろう(防災キャンプ)」に講師を派遣	外国人市民が参加する防災講習会・防災訓練に対する積極的な講師派遣	危機管理課
53 重点	地域に対する外国人市民の受入環境整備	町内会に対し、外国人市民の受入に対する意識啓発を促す研修会等を実施します。	新規	実施	→	→	→	→	「やさしい日本語」町内会出前講座を実施し、外国人市民の受入に対する意識啓発を促した。また、桜町連区では、「やさしい日本語」の資料を回覧することで、連区全体で外国人市民受入の意識啓発を図った。その他、図書館コラボ展示で「やさしい日本語」を紹介するなどして周知した。	より多くの町内会出前講座を実施できるように努める。	市民協働国際課 連区長会他
54	地域における外国人リーダーの養成	外国人市民が多く集まる施設や団体、町内会、企業等と連携し、地域における外国人市民のキーパーソンを見つけ、地域活動等のリーダーとして養成し、外国人市民の地域社会への参加や町内会への加入促進に繋がります。	新規	検討	→	→	→	→	協会の外国人会員を増やし、部会活動や協会活動を通して地域活動の理解を目指した。	継続して実施する。日本語教室、英語部会、災害時通訳ボランティア登録者を対象に担い手側の養成を図る。	市民協働国際課 国際交流協会 商工会議所 農業協同組合 連区長会他